

→開発部

回覧

開発者向け高度化研修『数値シミュレーション』開催案内

近年、製品開発のスピードが加速し、開発現場にかかる負荷が増加する中で、「設計品質」「製品品質」を確保する手段として「CAE検証」の活用の機会も広がってきています。たとえば、3D-CADデータを用いた数値シミュレーションを行うことで、従来は現物で行ってきた評価や検証を開発の上流工程で行えるため、早期の課題抽出、解決ができます。

また、私たちが利用する3D-CADなどの汎用的な開発ツールに備わったCAEツールでも検証が実務的に満足できるレベルに向かっている状況もあります。そして、設計者レベルでCAEを活用することで工程全体の負荷改善も図ることが可能と考えています。

そこで、精度の高いCAEを行う上で必要な考え方をお伝えするセミナーを開催いたします。本セミナーでは、CAEが製品開発において、精度、品質、開発期間、開発費用にどのような効果をもたらすか、事例を交えてわかりやすく説明します。

『数値シミュレーションの使い方【応用編】』

～開発におけるしっかりとした設計！CAEを活用して根拠をしめせ！～

1. CAEの利用場面

CAE利用は多岐にわたる 結果=設計根拠

2. 堅牢性解析

破壊の「原因」と「起因」を見分ける

改善効果を可視化する

例)スマートフォンの曲げ耐力(静解析)

例)スマートフォンの落下時障害(動解析)

3. 防水解析

目標の防水規格は決めよう

止水構造の弱点を探る

例)防水範囲の弱点探し(圧縮面積)

例)防水構造が規格を満たすか(圧縮荷重)

4. 熱解析

熱の伝わり方を可視化する！

4. 熱解析(続き)

冷やす！広げる！とどめる！

例)実装部品の熱を拡散させる(熱伝導)

例)発熱を送風部品で冷却する(熱伝達、対流)

例)熱輻射の度合を確認する(熱放射)

5. その他の解析

流体解析～風量・分流を整理・改善～

形状の最適化～部品を軽量化！～

射出成型シミュレーション(不具合予測で仕損削減)

ジェネレーティブデザイン(形状を自動生成)

6. CAEの使いどころ

開発工程の「どのポイント」で活用するか

工程のフロントローディング

CAEによる判断の意義

主催／ **新技術開発センター**

〒102-0082 東京都千代田区一番町17の2 一番町ビル3F
TEL 03(5276)9033 E-mail service@techno-cen.co.jp

FAX 03(5276)9034

日 時：2025年12月3日（水）13:00～17:00
会 場：ZOOMオンライン受講（自宅から参加可能）
受講料：33,000円/人（消費税込み・テキスト代含む）
講 師：神上コーポレーション 平池 学 氏

申込方法：受講申込書に必要事項を記入のうえ当センターまでFAXしてください（申込後、お客様都合でのキャンセルはできません）

【24時間受付】

受講申込書 [商品番号 21102]

PJN571602(1105)

会社名	部署	ふりがな
		氏名
住所		
Eメール	電話	FAX

□案内不要 → このままFAX送付ください (FAX番号 03-3473-4963) の配信を停止いたします)